



TKSだより

第26号

つばさ

富山県立高岡高等支援学校
平成31年3月1日発行

「知行楽（ちこうらく）」

校長 中浦雅子

これは、「これを知る者は、これを好む者に如かず、これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」という論語の教えです。つまり、『何事も楽しんでやる人にはかなわない』ということを行っている言葉です。

働く人として、その仕事にどう向き合うのかということは大切です。義務感でやるのではなく、好きだという気持ちをもつ。そうすると努力を努力と感じることなく、頑張れる。そして自然と上達して、良い結果に結びついたり、人の役に立ったりする。それが楽しさにつながるということです。何でも、まずは、前向きに捉えて、一生懸命やってみることが大切なのだと思います。

文化祭では、3年生全員が将来の夢を発表しています。仕事が好きだという気持ちを初めにもつことは難しいかもしれませんが、自分の夢の実現に向かって、とにかく一生懸命仕事をする。そうすると、次第に仕事に慣れ、仕事の楽しさも見つかるのではないのでしょうか。

就職し働く生活を送る生徒たちには、自分の仕事を好きになって、努力し、そこに楽しみ、面白みを見つけていってほしいものだと思います。「元気に働き続ける」「元気に社会生活を送る」、卒業していく生徒たちみんなが、そうあってほしいものです。そんな生徒たちに、私たちはずっとエールを送り続けたいと思っています。

地域の皆さま、地元企業の皆さまには、日頃より大変お世話になり、ありがとうございます。今後とも生徒たちに対する応援、本校に対する応援をよろしくお願いいたします。

卒業おめでとう



＜受賞記録＞

土屋 光貴 平成30年度 生徒図書委員表彰
 水野 佳乃子 パラリンアートカップ2018 損保ジャパン日本興亜賞（富山県賞）

＜検定合格＞

全商ビジネス文書実務検定
 ワープロ部門4級 速度部門4級
 3年 塚本 翔悟 2年 越谷 達也 2年 林 美優 1年 池田 風輝

平成31年度当初の行事予定 4月 8日（月）第1学期始業式 入学式 | 5月25日（土）体育大会
 26日（金）学習参観 PTA総会 学年懇談会 | 27日（月）振替休業日

今年度、3つの学校アクションプラン（重点課題）を設定し、目標達成に向け取り組みました。

重点課題	達成目標	評価
1 学習活動：各教科等の学習指導の充実	① 個別の指導計画の充実に向けた「個別の検討会」の実施 年間10回 ② シラバスの作成に向けた検討会の開催 年間5回	A
取組状況	①「個別の検討会」を毎月の職員会議の前に位置付けて、年間10回実施しました。学年毎に各生徒の合理的配慮事項や効果的な支援や対応などを話し合い、個別の指導計画に話し合いの経過を記録していくことで、各生徒の指導・支援についての共通理解を図ることができました。	
今後の取組	②本校における学習内容を生徒向けに示すシラバスの作成に向け、各教科担当者、各学年、ワーキンググループ等で6回の検討会を行いました。様々な視点から検討を重ね、系統性があり、分かりやすい表現のシラバスを作成することができました。	
取組状況	①「個別の検討会」の実施は、教員間で生徒について共通理解を図る機会として有効であり、実効性のある個別の指導計画の作成につながったことから、次年度もこの取組を継続・発展させていきます。	
今後の取組	・シラバスについては、生徒の主体的な学びにつながるように活用を工夫します。また、PTA総会で保護者に配付し、学校での取組を伝えていきます。	
2 生徒指導：規範意識や自己指導能力を育てるための指導の充実	① 学校生活ハンドブックの見直しのための生徒代表との話し合い 年間3回 ② 校内ルールを周知するための生徒集会の実施 年間2回	A
取組状況	①生徒会執行部から全生徒に呼び掛け、生徒による学校生活ハンドブックの見直しを行いました。生徒会や生徒指導担当教員が生徒たちの話し合いに同席して助言したり、校長先生に相談する機会をセッティングしたりして3回の話し合いを行い、生徒の主体的な活動を引き出すよう支援しました。	
今後の取組	②生徒が自分たちに必要な校内ルールを相談して決め、決めたルールを効果的に伝えるための生徒集会を2回行いました。前年度の取組や他校の取組を紹介したりして、生徒が主体的に集会の運営に携わることができるように支援しました。	
取組状況	・今回の取組で、生徒たちは「生徒心得」を繰り返し読んでルールの意味を理解したり、自分たちで作ったルールを守ろうとしたりするなど、規範意識の高まりが感じられました。今後も生徒たちの意見を聞く機会を設ける取組を継続し、生徒会活動の中に位置付けていきたいと考えています。	
3 進路指導：進路の手引きを活用した進路指導の充実	① 進路の手引きを活用した教員対象の進路指導に関する研修の実施 年間6回 ② 生徒用進路の手引き作成に向けた内容の整理と検討 年間5回	A
取組状況	①進路の手引きを活用し、全教員や学年別の教員対象に6回の研修を実施しました。就業体験前には関係教員を対象に、体験前の面接で確認することや巡回指導の目的や観点について、共通理解を図りました。	
今後の取組	②進路指導に関わる教員で、教員用進路の手引きから生徒用進路の手引きに掲載したらよい内容（進路指導に関する行事の目的やスケジュール、履歴書の書き方等）について検討する機会を5回設けました。検討内容を基に、進路に関する行事の流れに沿った構成で、生徒が理解しやすい表現を工夫した「生徒用進路の手引き」の試案を作成することができました	
取組状況	・教員用進路の手引きの見直しを続けていくと共に、全教員が見通しをもって進路指導を行うことができるよう、全体や学年別等でのニーズに応じたミニ研修を継続していきます。	
今後の取組	・「生徒用進路の手引き」の試案については、総合的な学習の時間やホームルーム等で活用していきます。また、保護者にも配付し、保護者と協力して進路指導を進めます。	

学校評価アンケートに、ご協力いただきありがとうございました。全項目で「かなり思う」「やや思う」との回答が90%以上であり、学校の教育活動に概ね満足いただいていると捉えています。

今後とも保護者の皆さんの忌憚のないご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。